

「核燃料サイクルを考える」

主催：福島県

わが国の原子力政策の基本的方向を示す「原子力政策大綱」策定が大詰めを迎えています。この大綱の策定作業の中で、最大の論点となっているのが「核燃料サイクル」です。

原子力発電によって生じる使用済み核燃料をどうするかという問題です。

これは、私達だけでなく子々孫々まで大きな影響を及ぼす重要な問題ですが、皆さんにわかりやすい議論はなされているのでしょうか。

このシンポジウムは、核燃料サイクル政策に対し推進の立場をとる方、慎重な立場をとる方、双方をパネラーとしてお迎えし、核燃料サイクル政策を巡るいくつかの論点について、わかりやすくお話しいただき、議論を深めようとするものです。

原子力発電所立地地域である福島県が、議論の場を提供します。

日時 平成17年9月4日(日) 13時30分～16時30分

場所 東京都千代田区大手町1-8-3 JAビル「JAホール」(下図参照)

JR東京駅丸の内北口より徒歩10分

地下鉄各線「大手町」下車

コーディネーター

加藤秀樹(シンクタンク「構想日本」代表)

パネラー(50音順)

クリスチャン・キュパース(独 ドイツ・エコ研究所)

フランク・フォン・ヒッペル(米 プリンストン大学教授)

マイケル・シュナイダー(仏 国際エネルギーコンサルタント)

飯田哲也(環境エネルギー政策研究所 所長)

内山洋司(筑波大学大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻 教授)

河田東海夫(核燃料サイクル開発機構 理事)

橘川武郎(東京大学社会科学研究所 教授)

藤村陽(京都大学大学院理学研究科 助手)

山名元(京都大学原子炉実験所 教授)

吉岡斉(九州大学大学院 教授)

その他

- ・ 同時通訳を行います。
- ・ 入場は無料ですが、8月31日(水)までに事前申込みが必要です。
- ・ 定員400名(先着順。申込みはお早めに！)
- ・ 駐車台数に限りがあるため、お車でのご来場はご遠慮ください。

詳しい申込み方法は裏面をご覧ください！

お問い合わせ・事前申込み先

福島県企画調整部エネルギーグループ

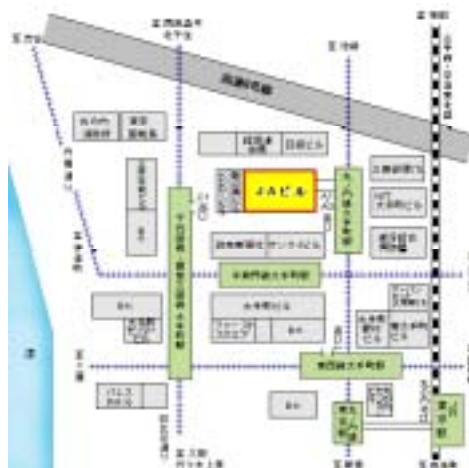
電話 024-521-7116

FAX 024-521-7912

E-mail energy-g@pref.fukushima.jp

福島県東京事務所

電話 03-5212-9050



事前申込みの方法

申込みは、郵送、電話、FAXまたは電子メールで受け付けいたします。
(8月31日まで必着)

郵送、FAXで申し込まれる場合、下記「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、この用紙をお送りください。

電話及び電子メールで申し込まれる場合、住所(市町村名)、氏名及び連絡先(固定電話、携帯電話、メールアドレスのいずれでも結構です。)をお知らせください。

なお、電子メールで申し込まれる場合、福島県のホームページ(<http://www.pref.fukushima.jp/>)「注目情報」に掲載されているこのシンポジウムの開催案内から、申込書をダウンロードし、必要事項を記載のうえ、添付ファイルとしてご送付いただくこともできます。

報道関係者は、社名、取材代表者氏名、連絡先及び当日の取材人数(取材代表者を含む)をお知らせください。

なお、当日は社名入り腕章を着用してください。

国際シンポジウム「核燃料サイクルを考える」参加申込書

郵送先：〒960-8670 福島市杉妻町2-16(福島県エネルギーグループ行き)
FAX送付先：024-521-7912(福島県エネルギーグループ行き)
電子メール送付先：energy-g@pref.fukushima.jp

住所(市区町村名)	氏名	連絡先(電話、Eメール等)

報道関係者はこちらに記載願います。

所属	取材代表者氏名	連絡先(電話)	取材人数
			名